

給食試食会



11月9日（水）、学校主催による中学校の保護者を対象とした「給食試食会」が実施されました。

今年は、49名の保護者の参加があり、ふだん生徒が食べている“ランチボックス形式”の給食を1年生といっしょに食堂でいただきました。

《本日のメニュー》

- * まいたけごはん
- * きすの香味天
- * かぶのゆず漬
- * 三色あえ
- * 五目豆
- * ぶどうゼリー
- * 牛乳



給食をいただく前に、給食試食会担当の冨田先生からお話がありました。

その中で、中学1年生はふだんは教室で食べているが、本日は中学3年生が修学旅行、中学2年生が職業体験で不在のため、特別に食堂で食べることが許可され、初めての食堂での給食にとっても嬉しそうだというお話がありました。



また、吉田副校長先生から、来年度(平成24年)は食堂調理室の工事が始まるため、食堂が使えなくなること、そして、再来年度(平成25年)から食堂の約半分が調理室になり、学校給食が食堂で作られるようになる予定というお話がありました。

中学1年生の給食の準備も整い、生徒が席についたところで、1年生の生活委員の号令に従い、一緒に「いただきます♪」をし、いざ試食！生徒も楽しそうに食べています。

給食試食会の様子



両国附中生たちの給食風景



試食した保護者の方からは、

- * ヘルシーなメニューで良かった。
- * 薄味で身体に良いと感じたが、食べ盛りの生徒にはもの足りないのではないか。
- * おかずの野菜が細くて、食べにくかった。また、取りにくかったのでデザートのスプーンがあってよかった。もっと大きく切って噛むことをさせた方がいい。
- * 汁物があるといいと思った。
- * 生徒の食事時間が短く、あわただしい感じがしたが、皆整然と準備/片付けを済ませている様子には感心した。
- * お弁当か、給食かを各家庭での選択制にしてほしい。
- * 自校式給食にするのなら、高校生にもなんらかの形で給食を提供して欲しい。

というような声が寄せられました。特に食事の時間に関しては多くの方が「食事の時間が短い。」と感じられたようですが、それに関しては、先生方も気にかけていらっしゃいました。

牛乳ビンの紙製のふたとビニールカバーは別々に回収するなど、ごみの分別もきちんとされていました。

ふたを入れるごみ箱は、生活委員が作っているそうですよ。



ごちそうさまでした～♪♪